

・ 桐生市の文化財

文化財番号 314

市指定重要文化財

公開区分 公開

種別コード 3 01 02 07

指定日 昭和54年 8月10日

指定名称

せんじゅじせきどう

千手寺石幢

施設名称等

千手寺境内



所在地 桐生市川内町一丁目331
所有者 千手寺

指定内容 石幢一基(高さ164cm)
製作年代 天文17年(1548)

概要

千手寺の境内にあり、材質は安山岩である。この石幢は、相輪・屋蓋・龕部・中台・幢身・基礎からなり、ほぼ完全な状態で保存されている。

龕部は七画で、一面に阿弥陀仏を配し、他の面には六地藏が彫りだされている。幢身は上下二段につなぎ合わされ、その上段に次の銘文が陰刻されている。

奉大乘六部 塔供養彫 六道能化地藏 薩捶尊容 現世安穩後 生善處 天文拾七年戊申八月 岸十七回 西小倉村旦 那 座

制作時期の天文17年(1548)は、桐生市指定重要文化財「重足寺石幢」造立の翌年にあたり、先祖供養のためにつくられたものである。